

[成果情報名] 精麦適性に優れた六条大麦「ファイバースノウ」の特性（奨励品種候補）
[要約] 大麦「ファイバースノウ」は「シュンライ」と同じ早生であり、精麦適性、耐寒性、収量、外観品質に優れ、収穫時穀粒水分30～15%の範囲で刈り取りを行っても精麦適性が高い。
[キーワード] 六条大麦、ファイバースノウ、精麦適性、耐寒性、外観品質
[担当] 山梨総農試・高冷地分場・野菜作物科、栽培部・作物科
[連絡先] 電話0551-20-2050 koureichi@pref.yamanashi.lg.jp
[区分] 関東東海北陸農業・関東東海・水田・畑作物
[分類] 技術・普及

[背景・ねらい]

山梨県における六条大麦の奨励品種は「ミノリムギ」と「シュンライ」である。1995年に奨励品種に採用された「シュンライ」はほぼ100%に作付けられているが、高冷地では耐寒性が不十分であり、精麦適性も実需者の要望に十分応えているとはいえない。

そこで、多収で良質な特性が期待できる品種「ファイバースノウ」の本県における適性を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

1. 「ファイバースノウ」は、1987年、長野県農事試験場において、「シュンライ」を母とし、「東山皮86号」を父として交配・育成された品種で、2003年に品種登録された。
2. 「ファイバースノウ」は、「シュンライ」と比較した場合、次のような特性を持つ（表1, 2）。
 - (1) 出穂期は4月下旬～5月上旬、成熟期は6月上旬～中旬で1～2日程度遅い。
 - (2) 穂長はやや長く、穂数はやや多い。
 - (3) 稈長は同程度だが、稈質は“やや剛”であるため耐倒伏性は優れる。
 - (4) 耐寒性は優れる。
 - (5) 粒大、千粒重は大きく、収量は優れる。
 - (6) 外観品質は優れる。
 - (7) 硝子率は低く、精麦白度・色相は優れ、精麦適性は優れる。
3. 「ファイバースノウ」は収穫時穀粒水分20%が適期とされているが、30～15%の範囲で刈り取りをしても実需者の求める精麦適性を満たす(表3)。

[成果の活用面・留意点]

1. 標高800m以下の地帯が栽培に適する。
2. 耐寒性は高いが、初期生育が不足すると多収が望めず、出穂・成熟が遅れて収穫期が梅雨と重なるため、適期に播種する。
3. 穂数確保のため越冬後の追肥を適期に行う。

[具体的データ]

表1 ファイバースノウの栽培特性

品種名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	倒伏 程度	寒害	子実収量 (kg/a)	千粒重 (g)	容積重 (g/L)	外観 品質
ファイバースノウ	4月27日	6月10日	93	5.0	452	0.4	1.8	51.9	38.3	673	1.8
シュンライ	4月26日	6月8日	94	4.7	435	0.9	2.6	49.3	36.7	664	2.1
ミリムギ	4月28日	6月11日	103	5.0	484	1.8	2.0	47.2	36.7	664	2.5

* データは北杜市長坂町、高根町、明野町の分場および現地試験の1997,2002～2005年度、寒害は1997,2002～2004年度の平均値
 * 倒伏程度、寒害は0(無)～5(甚)の6段階評価
 * 子実収量:篩目2.2mmで調整
 * 外観品質は農政事務所調べ1(1上)～7(規格外)の7段階評価

表2 実需者による精麦適性の評価

品種名	原麦		55%搗精麦		搗精麦色相			総合 評価
	硝子 率	千粒 重	白 度	黒条 幅	色 ムラ	明 るさ	赤 み	
ファイバースノウ	3.3	1.5	3.0	2.8	2.8	1.5	1.8	2.0
シュンライ	4.0	2.5	3.5	2.5	4.0	3.0	3.8	3.5
ミリムギ	4.0	3.0	4.5	3.0	3.5	4.0	4.5	4.0

* データはファイバースノウとシュンライが2002,2004,2005年度、ミリムギが2002,2004,2005年度の平均値
 * 各評価は(株)はくばくによる1(問題なし)、2(標準以上)、3(標準的で普通)、4(少し難点あり)、5(精麦適性なし)の5段階評価

表3 収穫期の違いが精麦適性に与える影響

品種名	収穫期	収穫時 穀粒水分 (%)	原麦		55%搗精麦		搗精麦色相			総合 評価
			硝子 率	千粒 重	白 度	黒条 幅	色 ムラ	明 るさ	赤 み	
ファイバースノウ	早刈	29.6	4	2	3	3	2	1	2	2
	適期	19.9	4	2	3	2	3	1	2	2
	遅刈	14.6	4	2	3	2	2	1	2	2

* データは、高冷地分場(北杜市明野町)の2005年度
 * 各評価は表2と同様
 * 収穫日は、早刈:6/7、適期:6/10、遅刈:6/14

[その他] 研究課題名: 麦類品種の比較試験

予算区分: 県単

研究期間: 1997、2002～2005年度

研究担当者: 石川寛人、上野直也、平林正光、窪田哲、石井利幸、浜田亮、篠原巖